

令和7年度

# 教職課程

自己点検・評価報告書

釧路公立大学

令和8年3月

## 釧路公立大学 教職課程認定学部・学科一覧

経済学部・経済学科 定員 200 名

経済学部・経営学科 定員 100 名

### 全体評価

釧路公立大学は、「地域に結びつき開かれた大学」、「国際性を重視する大学」、「理論と実践の相まった大学」という3つの建学の理念を掲げて1988年度に開学した。釧路地域の市町村（当初は1市8町1村。2005年から1市6町1村）による一部事務組合方式による大学創設は、4年制大学としては全国初の取り組みであった。以後、海外の大学との姉妹校提携や学術交流、経営学科の新設（1996年度）、地域経済研究センターの設立（1999年度）など、先の建学の理念を具体化する体制を整えながら、大学の質向上を目指してきた。2023年度からは法人化し、さらなる改革に取り組んでいる。

本学は、上記の大学の理念やそれに基づくディプロマ・ポリシーを実現すべく経済学、経営学を中心とした基礎・専門科目の学習を通じて、社会の仕組みや現実の動きに関する知識を習得した人材の育成に努めている。また、それらを学ぶための前提となる幅広い教養科目群（人文学、自然科学等）も用意されている。近年は地域社会とのつながりを密にする、という課題に向けて新コース制の編成や実践的教育の豊富化を試みている。

本学の教職課程は、教職課程委員会を中心に、学部の教育理念やポリシーを踏まえた教育内容を編成している。中学校の社会科、高等学校の地理歴史、公民、商業の教員を目指している。学生の教育にあたっては、昨今社会的に要請されている「地域とのつながり」を重視するとともに、「自ら成長する教員」を目指してもらいたいと考えている。また、学生の主体性や協調性の涵養に向けて、少人数の「アクティブラーニング型」の授業を導入し、全履修者の参加を促している。教員としての資質・能力の向上が目標である。

また、本学独自の取り組みとして「学校体験活動」と「教育支援ボランティア」を実践している。教育のリアルな姿を知り、またそこで実践するという機会を学生に提供するにあたっては、関係する自治体の施設や、大学近隣の中学校や高等学校にご協力いただいている。

さらに、教職へのキャリア支援の一環として、教員としての自覚と責任を涵養するための少人数や個別での指導を行うとともに、各種の採用試験対策も行っている。現職の中学校・高等学校の教諭の講演を授業に組み込んだり、実務経験の豊富な退職校長に面接指導をお願いしたりすることで、教育内容の補強を試みていることも付記しておきたい。

小規模ながらも、社会科系科目の教員を目指し、地元や全国各地から入学してくる学生の要望を取り入れながら、教職課程の一層の充実につとめたい。

釧路公立大学学長 白川欽哉

## 目次

I	教職課程の現況及び特色	1
II	基準領域ごとの教職課程自己点検・評価	4
	基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み	4
	基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援	6
	基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム	8
III	総合評価	11
IV	「教職課程自己点検・評価報告書」作成プロセス	12
V	現況基礎データ一覧	13

## I 教職課程の現況及び特色

### 1 現況

- (1) 大学名：釧路公立大学
- (2) 所在地：北海道釧路市芦野 4-1-1
- (3) 学生数および教員数（令和7年5月1日現在）  
学生数：教職課程履修者（2年次、3年次、4年次）／学部全体名  
教員数：39名

### 2 特色

本学は、学則第1条の目的において、「釧路公立大学は広く知識を授け、深く専門の学術を教授研究し、高い識見と国際的な視野をもつ人間性豊かな人材を養成するとともに、社会に結びつき、開かれた大学として産業経済の興隆と文化の向上発展に貢献する」と理念を定めている。ディプロマ・ポリシーは、以下の通りである。

#### 2024年度以降入学生

釧路公立大学は、「地域に結びつき開かれた大学」「国際性を重視する大学」「理論と実践の相まった大学」という3つの「建学の理念」と、学則に定める「教育研究上の目的」を踏まえて、次に掲げるような、自らの潜在能力を主体的に開花させることができる人物の育成をめざす。

- ① 専門教育としての経済学、経営学および周辺分野の学識を体系的に修得するとともに、幅広く深い教養、的確な判断力と創造力、豊かな人間性を養い、生涯にわたり主体的に「学ぶ力」を発展させることができるひと
- ② 「地域の視点」をもつと同時に「国際的な視野」を備えた、理論的で実践的な力を活用することができるひと

#### 経済学科において求められる学修成果

- 1. 経済現象への理論的かつ歴史的・制度的アプローチを通じ、経済分野の専門的知識と技能を体系的に修得している。
- 2. 国際経済や地域経済の理念と現実に習熟し、理論と実践の観点から、複雑かつ変化の激しい現代経済社会の要請に的確に対応できる論理的かつ創造的思考を身につけている。
- 3. 人文学・社会科学・自然科学が融合した幅広い視野から、人間と自然、人間と社会、地域と産業の関係を認識、思考し行動できる。
- 4. 経済学の専門家であると同時に「経営」などの関連領域および「歴史・思想」、「地理・環境」など幅広い領域にも知見を持ち、豊かな教養と汎用性ある社会的能力を身につけ、社

会に貢献できる。

### 経営学科において求められる学修成果

1. 営利企業や公企業、政府、自治体など多様な組織におけるマネジメント等の学修を通じ、経営分野の体系的な専門的知識と理論的探究能力を修得している。
2. グローバル経済とローカル経済の両視点から企業・組織活動のモデルに習熟し、理論と実践の観点から、大きく変貌する現代の企業、組織の理解を深め、状況に的確に対応できる論理的かつ創造的思考を身につけている。
3. 経営学の専門家であると同時に「経済」や「地域社会」などの関連領域および「言語・文化」、「科学・情報」など幅広い領域にも知見を持ち、豊かな教養と汎用性ある社会的能力を身につけ、社会に貢献できる。

### 2023 年度以前入学生

釧路公立大学は、本学の「建学の理念」と「教育研究上の目的」を踏まえて、次のような人材の養成をめざす。

- ① 専門教育としての経済学、経営学および周辺分野の学識を体系的に修得するとともに、幅広く深い教養、的確な判断力と創造力、豊かな人間性を養い、生涯にわたり主体的に「学ぶ力」をもった人材
- ② 「地域の視点」をもつと同時に「国際的な視野」を備えた、理論的で実践力ある人材

釧路公立大学は、次の2つの要件を満たした学生に対して、所属する学科の区分に応じて学士の学位を授与する。経済学科の学生には「学士（経済学）」、経営学科の学生には「学士（経営学）」を授与する。

1. 4年以上在学し、卒業に必要な所定の単位である126単位以上を修得した学生
2. 上記1. 2. の人材像を踏まえ、以下に掲げる各学科の学士像にふさわしい学修成果を得た学生

### 経済学科の学士像は次のとおりである。

1. 経済現象への理論的かつ歴史的・制度的アプローチを通じ、経済分野の専門的知識と技能を体系的に修得した学士
2. 国際経済や地域経済の活動諸モデルに習熟し、理論と実践の観点から、複雑かつ変化の激しい現代経済社会への理解を深め、的確に対応できる論理的かつ創造的思考を身につけた学士
3. 経済学の専門家であると同時に「経営」や「統計」などの関連領域および「法律・政治」、「地域」など幅広い領域にも知見を持ち、豊かな教養と汎用性ある社会的能力をもって思考し行動できる学士

**経営学科**の学士像は次のとおりである。

1. 営利企業や公企業、政府、自治体など多様な組織の経営マネジメント等の学修を通じ、経営分野の専門的知識と技能を体系的に修得した学士
2. 国際化と地域化の両視点から企業・組織活動のモデルに習熟し、理論と実践の観点から、大きく変貌する現代の企業、組織の理解を深め、的確に対応できる論理的かつ創造的思考を身につけた学士
3. 経営学の専門家であると同時に「経済」や「統計」などの関連領域および「法律・政治」、「地域」など幅広い領域にも知見を持ち、豊かな教養と汎用性ある社会的能力をもって思考し行動できる学士

## II 基準領域ごとの教職課程自己点検評価

### 基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

#### 基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標の共有

〔現状説明〕

前述のディプロマ・ポリシーを踏まえ、教員養成に対する理念を以下のように定めている。

・経済学部経済学科

経済学に関する幅広い専門的知識と技能を習得し、内外の経済情勢の変化を踏まえつつ、現代の経済を理解し、地域社会が直面する諸問題に的確に対応できる論理的かつ創造的思考を備えた教員の養成を目標とする。

・経済学部経営学科

経営学に関する幅広い専門的知識と技能を習得し、内外の経済情勢の変化を踏まえつつ、現代の企業や組織を理解し、地域社会が直面する諸問題に的確に対応できる論理的かつ創造的思考を備えた教員の養成を目標とする。

【本学で取得できる教員免許状】

- ・中学校教諭一種免許（社会）
- ・高等学校教諭一種免許（地理歴史）
- ・高等学校教諭一種免許（公民）
- ・高等学校教諭一種免許（商業）

〔長所・特色〕

地域との結びつきが強い本学ならではの教員養成が行われている。1年次の「教育支援ボランティア」と4年次の「教職実践演習」では、学生が地域の学校・施設の子どもと接触する機会を設けている。また、3年次以上の学生に「授業におけるICTの活用」を義務づけることによって、ICTを活用した授業を推進することの出来る教員を養成している。

〔取り組み上の課題〕

教員の専門領域が多様であるため、教職課程についての認識を深めるために、教員研修会の開催等により改善する必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・釧路公立大学のホームページ（教育方針）
- ・釧路公立大学のホームページ（教職課程について）
- ・シラバス「教育支援ボランティア」「教職実践演習」「授業におけるICTの活用」

## 基準項目 1－2 教職課程に関する組織的工夫

### 〔現状説明〕

本学では、5名の委員からなる教職課程委員会を年1～2回実施している。当会議では、教職課程の整備に関する事項、教育実習に関する事項、その他教職に関し必要な事項を協議・連絡調整している。教職課程会議での決定事項は、教授会にて報告されている。また、実習や介護等体験などに関わる事務組織としては学生課が担当しており、上記教員組織の運営事務を担う他、大学のホームページにおいて教職課程に関する情報公開を行っている。

### 〔長所・特色〕

教職課程専任教員を2名配置し、教授会で、教職課程に関する情報を頻繁に提供し、学部教員への周知に努め、学部の全教員が意識的に教職課程に関与できる体制を構築している。

### 〔取り組み上の課題〕

小規模の教職課程のため、教職センターの開設には至っていない。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・ 釧路公立大学各種委員会の運営等に関する規程

## 基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援

### 基準項目 2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

#### 〔現状説明〕

毎年、年度の初めに1年生から3年生の各学年別に教職課程のガイダンスを行っている。1年生に対しては、教職課程の概要についての説明を行っている。2年生に対しては、教育職員免許状の取得方法や履修の方法、教職を目指す上での心構え、教職の魅力等を説明し、学生に対して教職の情報発信を行っている。また、3年生のガイダンスではその学年ごとに行われる行事（教育支援ボランティア、学校体験活動、教育実習）の確認を行い、教職課程をスムーズに受講できるよう情報共有を行っている。

教育実習履修前には、履修資格審査を行い、「教職に関する科目」の単位取得状況を考慮し、教育実習履修の可否を審査している。また教職課程履修者は原則教員採用試験の受験を必須としており、教職課程履修にあたっては将来教職に就くことを第一志望とすることを求めている。

#### 〔長所・特色〕

教職課程を履修する学生が、各学年10-20名程度と少人数である特質を活かし、アクティブラーニング型の授業を大幅に取り入れている。これにより、自ら判断し主体性をもって行動できる教員の育成を図っている。1年生から3年生までの間に、「教育支援ボランティア」を教職課程の学生全員が取り組み、教職への適性を判断するとともに、児童・生徒とのコミュニケーションの取り方、適切な距離感等についても身に付ける機会としている。さらに、履修資格審査を行うことで、学生は教員としての資質・能力を備えるよう努力を重ねている。実際に教育実習先の学校では高評価を得ている学生が多い。

#### 〔取り組み上の課題〕

教員への就職者数が少ないため、本学の教職課程をより積極的に広報する必要がある。教育支援ボランティアについては、釧路地方以外からの学生が9割程度を占める中で、長期休業中に釧路市内でのボランティア活動に参加できない学生が見られる。

#### <根拠となる資料・データ等>

- ・ 釧路公立大学のホームページ（教職課程について）
- ・ 令和7年度釧路公立大学学生便覧（53-78頁）
- ・ シラバス「教育支援ボランティア」

## 基準項目 2-2 教職へのキャリア支援

### 〔現状説明〕

本学の教職課程履修学生の、教職に就こうとする意欲や適性については、下記のような指導を通して把握している。

2・3年生については、4月のオリエンテーション期間中に教職課程ガイダンスを行い、教職に対する自覚と責任、意欲喚起について指導をしている。2年生以上が履修する教師論の授業では、現職の中学校・高等学校教諭を招聘し、教職に対する教員という職務をより身近に感じ理解していく指導をしている。

### 〔長所・特色〕

教員採用試験の筆記試験対策や面接指導を行っている。本学の教職課程専任教員が教員採用試験の勉強の仕方についての相談を実施するとともに、過去問題についての演習を行っている。教員としての優れた実務経験を有する教員退職者による面接指導が行われている。また、希望者に対しては教員採用試験の模擬試験を受験する機会を与えている。

### 〔取り組み上の課題〕

教員採用試験で合格とならなかった学生への支援方法が十分に行われていない現状がある。学生課職員や教職課程専任教員がどのように対応できるのかを検証する必要がある。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・令和7年度釧路公立大学学生便覧（53-78頁）

## 基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

### 基準項目3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

#### 〔現状説明〕

学習指導要領や答申等を踏まえながら、十分な資質能力を備えられるよう教職課程科目の配置を工夫している。学科の目的及び教育課程と免許状には整合性が保たれるように教職課程カリキュラムが編成されている。教職課程の編成及び実施については、時間割編成も含めて教務委員会に置いて検討がなされ、教授会で審議され、決定している。

#### (2) 教育の基礎的理解に関する科目等

注：単位数欄における必修・選択の別は、学則別表第一（第18条関係）に定める授業科目としての区分ではなく、教職課程における区分であるので注意すること。さらに必修科目の横に○印を標記する。

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	開設授業科目	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	11	○教育学概論	2		1	
		○教師論	2		2	
		教育学行政学		2	2	2単位必修
		○教育社会学	2		2	
		○教育心理学	2		2	
		○特別支援教育入門	1		3	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	中13	○道徳教育の指導法	2		3	中学のみ
		○総合的な学習の時間の指導法	2		3	
		○特別活動	2		2	
	高11	○教育方法論	2		2	
		○授業におけるICTの活用	1		3	
		○生徒指導論(進路指導を含む。)	2		2	
		○教育相談	2		2	
教育実践に関する科目	中6	○事前指導	1		3	
		○事後指導	1		4	
	高4	○教育実習Ⅰ	2		4	
		○教育実習Ⅱ	2		4	中一種免必修
	2	○教職実践演習(中・高)	2		4	

※中一種免許、高一種免許ともに、4年次に教育実習Ⅰおよび教育実習Ⅱを履修することを基本とする。

#### (3) 大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	開設授業科目	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
大学が独自に設定する科目	中4	介護等体験		2	2	中一種免必修
	高12	道徳教育の指導法		2	3	高校のみ
		○教育支援ボランティア	1		1	
		○学校体験活動	1		3	

注：「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、高等学校一種免許状は10単位数以上修得することが必要である。

教職課程では、履修カルテの効果的な活用が図られている。2 年生前期、3 年生後期、4 年生後期において履修カルテのチェックを行い、教職課程の学生の成長を確認する機会としている。

#### 〔長所・特色〕

学校での教育活動として、3-4 年生は 1 週間の学校体験活動（インターンシップ）を義務づけており、学校現場を理解した上で、教育者としての適性や目標を考える機会を設けている。また、教職実践演習では、教育実習を終えた 4 年生が地元的高等学校で特別授業を行い、実践力の向上に繋がっている。

#### 〔取り組み上の課題〕

学生は、学部学科に関する科目の他、約 40 単位教職に関する科目を履修するため、空き時間が少なく、教育支援ボランティア等の活動に多く関わることが出来ない現状にある。また、長期休業中も集中講義が多く予定されており、様々な体験が乏しくなっている。

#### ＜根拠となる資料・データ等＞

- ・令和 7 年度釧路公立大学学生便覧（53-78 頁）
- ・シラバス「学校体験活動」「教職実践演習」

## 基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

### 〔現状説明〕

本学の独自科目である「学校体験活動」は3年次配当であり、教育実習に赴く前または教育実習の前後に、現場の教員と連携して学校業務を遂行していく体験となり、実践指導力育成に大きな効力を発揮している。また、教職実践演習では、教育実習を終えた4年生が北海道釧路東高等学校で特別授業を行い、実践力の向上に繋がっている。

本学独自の取り組みである教育支援ボランティアでは、青少年体験活動支援施設（ネイパル厚岸、ネイパル足寄）や釧路町立富原小学校との連携協力体制を構築しながら、教育の実際場面に学生が触れるフィールドを提供している。また、介護等体験、学校体験活動、教職実践演習とも事前指導、事後指導、評価を綿密に行っており、各学生が持つ課題を明確化して次へのステップへ繋げられるように、実践指導力を育成している。上記の取り組みは、教職課程委員会が中心となって行っている。

### 〔長所・特色〕

地元の教育機関と連携しての各施策は、体系的に計画・実施されており、地元の期待も大きく、学生の成長に大きく寄与している。

### 〔取り組み上の課題〕

今後教職課程を履修する学生が増加した際には、「学校体験活動」実習校との調整、教育実習校訪問等を現行と変わらない効果を上げる為には、適切な人員配置が必要となってくる（現状では対処が難しくなる）。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・令和7年度釧路公立大学学生便覧（53-78頁）
- ・シラバス「介護等体験」「学校体験活動」「教職実践演習」「教育支援ボランティア」

### Ⅲ. 総合評価

本学の教職課程は、1988年の開学と同時に設置され、1992年3月に最初の卒業生を送り出した。それ以来、すでに大勢の卒業生が北海道から九州・沖縄まで全国各地の中学校と高等学校で教員として活躍している。

本学教職課程は、経済学、経営学を中心とした社会科学全般に渡る学習を土台に、世の中の仕組みに詳しくなった上で、将来、中学校や高校で活躍できる教員の養成を目指している。以下の点で概ね良好に行われていると評価できる。

#### 基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

ディプロマ・ポリシーを踏まえ、教員養成に対する理念を学科ごとに設けている。教職課程委員会では、教職課程の整備に関する事項、教育実習に関する事項、その他教職に関し必要な事項を協議・連絡調整している。

#### 基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援

4月のオリエンテーション期間中に教職課程ガイダンスを行い、教職に対する自覚と責任、意欲喚起について指導をしている。

また、教員採用試験の筆記試験対策や面接指導を行っている。本学の教職課程専任教員が教員採用試験の勉強の仕方についての相談を実施するとともに、過去問題についての演習を行っている。教員としての優れた実務経験を有する教員退職者による面接指導が行われている。また、希望者に対しては教員採用試験の模擬試験を受験する機会を与えている。

#### 基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

学習指導要領や答申等を踏まえながら、十分な資質能力を備えられるよう教職課程科目の配置を工夫している。学科の目的及び教育課程と免許状には整合性が保たれるように教職課程カリキュラムが編成されている。また、実践的指導力育成に向けて、地域の学校や教育委員会との連携が、充実している。

今後は、優秀な教員の卵を現代教育の現場に送り出す為のカリキュラム及び学習システムの改善（ICT活用を含める）、キャリア支援にも一層注力していきたい。

また、教職課程の自己点検評価については、次年度以降、一層精度を高め、本学教職課程の発展に寄与するものとしていきたい。

#### IV 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス

教職課程委員会の構成員である教職科目専任教員が原案を作成し、教職課程委員会において検討し、原案を確定した。そして、教育研究審議会および理事会の議を経て、教授会での報告ののち、学長決裁を行い確定した。

## V 現況基礎データ一覧

法人名 公立大学法人 釧路公立大学				
大学・学部名 釧路公立大学経済学部				
学科名 経済学科、経営学科				
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等				
① 昨年度卒業者数				292 名
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)				283 名
③ ①のうち、教員免許状取得者数の実数 (複数免許状取得者も 1 と数える)				10 名
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用 + 臨時的任用の合計数)				2 名
④ のうち、正規採用者数				1 名
④ のうち、臨時的任用者数				1 名
2 教員組織				
	教授	准教授	講師	助教
教員数	21 名	10 名	8 名	0 名

